Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan
Reference Code: A'.7.1.0.5-2-2

アジア局 第二課
国際協力局長 次長
第三課 大多
第二課長

在本第一四〇号
昭和三十年二月二日

在タイ
特命全権大使 太一田五一二郎

外務大臣 重光 葵 殿

タイ国援韓遠征軍に関する件

タイ国援韓遠征軍は一月三十一日帰盤し、ラマ五世広場において凱旋式典を盛大に挙行したが、一日付当地華字紙の本件関係記事左のとおり要約の上、御参考まで報告する。

一、今回凱旋したタイ国援韓遠征軍は、第六回援韓軍の大部分で、

在外公館
1955. 2. 21
記帳済

陸軍八六五名、海軍四二五名は連合国派遣の船舶一隻とタイ国軍艦二隻に分乗して帰盤した。

三、ピブン総理は歓迎の辞において左の点を明かにした。

(イ)タイ国援韓遠征軍の第一回派遣は、一九五二年十月二十二日で、一九五四年五月二十二日に最後の交替を行つた。

(ロ)陸海空三軍派遣総数は一〇、三一五名で、うち戦没者九一名行方不明五名、戦争による負傷者三一八名、一般傷病者五〇六名である。

(ハ)タイ海軍はバンパコン、パセ、タチンの三艦を韓国に派遣し、連合軍第九五艦隊に、タイ空軍は第三七五隊にそれぞれ編入されている。

在外公館